

ほうこく 報告レポート

Cチーム 小学5・6年生：6名

チームの発表まとめ

大切にされているなと感じたできごとは？それを増やすには？

- 私達わたしたちがいろいろと考えた中で一番意見が多かったのは「自分の意見を尊重そんちょうしてくれたとき」「行動に移うつしてくれたとき」みんなで考えたときにこれが一番「やっぱり大切にされていることだよね」って気づきました。あとは「自分の意見に共感きょうかんされたとき」例えば、話し合いで自分の意見が賛成さんせいされたときや、お母さんが自分の嫌いやだってことを聞いてくれた・共感きょうかんしてくれたときなどが大切にしてくれたって思えました。
- その意見をふまえた上でどうしたらいいか、意見などを出し合いました。例えば助成金たつせいきんの増額ぞうがくとか、悪い人を知らせるブザーとか、たくさんみんなと遊んで交流を深めようとか。世界中の人に、一人ひとりの人権じんけんについて伝える講座こうざを開くとか、たくさん意見があがりました。

個々の具体的な意見

【1】大切にされているなと感じたできごとは？

【自分の存在を大切にしてくれた】

- ・ さそわれた時れい（例）「いっしょに帰ろう」「いっしょに遊ぼう！」

【自分のことを心配してくれる】

- ・ 学校で休んだ次の日に、みんなが「だいじょうぶ？」と聞いてくれたとき。
- ・ けがをして久しぶりにいった学校でみんなから「おはよう」といわれたとき。
- ・ 学校を休んだ後、いろいろな子が「だいじょうぶ？」と言ってくれた。

【自分の意見に共感（知り合い）】

- ・ 「すごっ！」って言ってもらえたとき（例）社会・総合そうごうの発表スライドを作っていたとき。
- ・ 話し合いの活動に自分の意見にさんせいしてくれた。・話し合いで自分の意見が賛成さんせいされた。
- ・ お母さんが自分の嫌いやだったことを聞いてくれた、共感きょうかんしてくれた。
- ・ 人のことを考えているとき、いっしょに考えてくれた（しゅみ）。
- ・ 人が猫をいじめて、声をかけたけど聞いてくれなかった。けど知り合いのパートさんがやめさせてくれた。

【かわいがってくれる】

- ・ 小さいころにかわいがってくれた。
- ・ 自分が新聞にのったときに他の人から大切にされていると気づいた。

【体を守ってくれる】

- ・ 山に行ったときに蚊かにさされないようにスプレーをしてもらったこと。
- ・ 救急車で運ばれて治りょうをしてもらったとき。

【幸せを実感できる】

- ・ 「ぎゃくたい」のニュースを見たとき、自分は大切にしてくれていると思った。↓つづく



ほうこく 報告レポート

Cチーム 小学5・6年生：6名

個々の具体的な意見



【自分の意見を尊重→行動にうつしてくれた】

- ・好きなことをやらせてくれること。
- ・工作教室に参加したいと言ったらお父さんが参加させてくれた。
- ・好きなおかしを買ってくれること。
- ・熱が少ししかないのに学校を休ませてくれた。
- ・親が猫の遊び道具を買ってくれた。
- ・自分が欲しいと言ったものを買ってもらえたとき。
- ・「自分がここに行きたい！」と言ったら連れて行ってもらえる。
- ・好きな場所につれてってくれること。
- ・旅行に行くときに自分が調べた場所に行かせてくれたとき。
- ・ネコと遊んでいたら「ちゅーるどうぞ」と言われて、ちゅーるをもらってうれしかった。
- ・しゅみを作ってくれた（5さいの時パソコンをさわらせてくれて、プログラミングについて分かった。）

【2】それを増やすためにできること

【じぶんのいいこと×じぶんで・みんなで】

- ・ブリーダーぎゃくたいする人間、変な人（ちかんとか）をなくす

【じぶんのいいこと×みんなできしみで】

- ・テレビやYouTubeなどで各県のみりよくを知らせる！ ・助成金の増額

【じぶんにも・みんなにもいいこと×じぶんで・みんなで】

- ・熱が37.5度以上だったら学校休み法案
- ・世界中の人たちに1人1人の人けんのことなどについて伝えていくべきだと思う。

【みんなにいいこと×みんなできしみで】

- ・子どもが安心・安全にらせるように、子供に関する法りつをもっと作ったらいいと思う！
- ・自分のこといがいも考えてうごく
- ・ぎゃくたいがなくなるように家にかんしカメラをつける
- ・法りつにする（いじめ思いやりのない行どう）
- ・悪い人知らせブザー
- ・市民の意見を聞いて行動に移す（群馬だけではない！）
- ・意見が同じだと思えるしせつを（例）プログラミングをしたいと思えるしせつをつくる。
- ・お年よりの人に年金があるように子供にも毎年母、父に金が渡されるようにしたい
- ・親の心理状態を安定させる方法を教えるこうざ
- ・これからの未来の大切なことに助成金
- ・AIをつかってぎゃくたいをされている児童を発見して保護するプログラム ↓つづく

ほうこく 報告レポート

C チーム 小学5・6年生：6名

【2】それを増やすためにできること つづき

【じぶんのいいこと×じぶんのちからで】

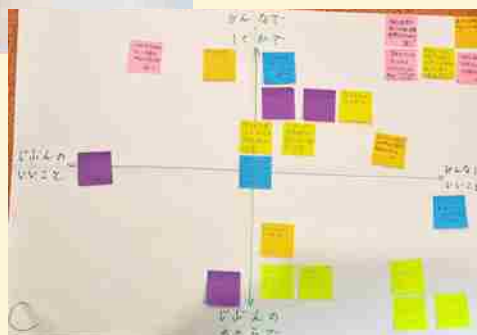
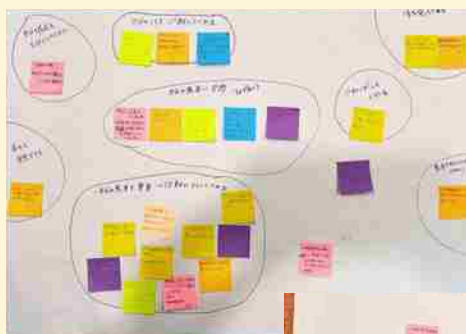
- ・金の力で買いたいものをかう。

【みんなにいいこと×じぶんのちからで】

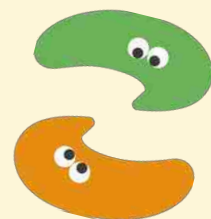
- ・「ぎゃくたいをしていませんか」というポスター作り
- ・共感した。と声にする
- ・物を買う、どこかに行くなどと行動に移す
- ・1人1人の意見をそんちょうする。「ありのままをうけ入れる」
- ・たくさんみんなと遊ぶ
- ・たくさんほめる
- ・みんなのことを知ろうとする

ファシリテーター（班でお話を聴いていた人）の感想

- ・学校や家庭など、日常的な場では声にできない意見を積極的に出すことができている印象がありました。
- ・5年生が意見を言うことを、6年生が助ける場面や、意見になるよう助言をしている様子がありました。
- ・自分たちの要望だけでなく、他者に対する視点もたくさんでていたのがよかったです。



自分の意見を聴いてくれるってうれしいよね



行動してくれることも
すごくうれしいね

ほうこく 報告レポート

D チーム 中学生：7名

チームの発表まとめ

大切にされているなと感じたできごとは？それを増やすには？

- 一番多かったものとしては「送り迎え」についてです。例えば、寝坊をしたときに、車で送ってくれたら「親が自分のためにそこまでしてくれたんだ」と、大切にされているなって思っている人が多かったことと、家族が自分のために時間を割いて、自分を応援してくれるとか、気にかけてくれるとか、厳しく指導してくれたりとか、自分の誕生日を覚えていて祝ってくれるとか。自分のために何かをしてくれる行動が、大切にされていると思いました。
- それを増やすために。「自分の力でできて、自分に良いこと」としては、反抗期でも親と関わること、自分と似た趣味の人や年代の人が話すことが、自分にとっていいことにつながると思います。「みんなに良いこと」としては、積極的にコミュニケーションをとる、自分の意見を伝える、人の良い所を常に探してすぐ人の良い所を言えるようになること。クラスの中でも一人一人が自分を大切にできるようになるか、その気持ちを伝えることで実感できれば、言われた方も嬉しいと思うのでみんなに良いことだと思いました。「みんなで仕組みで」は、たくさんの経験（修学旅行で海外に行くなど）をもっと広めて欲しいという意見がありました。
- 「みんなで仕組みで × みんなにいいこと」の話では、こどもがもっと暮らしやすい環境をつくるために、金銭面であまり大切にされていないなって感じるこどもを減らしたいので、こどもを支援するような補助金とかの制限をもうちょっと緩和するという意見がありました。他にも気軽に相談できる場所とかを作るというのがとても多くて、いろんな人と知り合ったり、たくさんの人と関われる場所を増やすとか、「感謝する」を伝える場を作ることで、ふだん恥ずかしくて感謝を言えない人とかでも言えて、みんな双方にとって嬉しい気持ちになれるのは良いことだという意見が多くありました。

個々の具体的な意見

【1】大切にされているなと感じたできごとは？

【誕生日】

- ・サプライズをしてくれたとき。 ・誕生日の日に学校で友達に祝ってもらえた。
- ・友だちから誕プレや手紙をもらったとき。

【友だち】

- ・かぜひいて休んだ時に心配するLINEがきたこと。
- ・友達が好きなものなどを覚えていてくれた。 ・友達が話かけてくれること。
- ・人のことを真っ先に考えてくれる友に恵まれていること。

【願い】

- ・親が好きなものを買ってくれたとき。 ・願いをかなえてくれた（旅行）。 ↓つづく



ほうこく 報告レポート

D チーム 中学生：7名

【1】大切にされているなと感じたできごとは？ つづき

【家族が時間を使ってくれる】

- ・小さい頃に、母が大学に行きはじめて、その時はずっとおばあちゃんが子守りをしてくれていて自分の子のように大切にしてくれているなと感じた。
- ・時間をついやしてくれる。
- ・部活で「勉強分かんないー！」って言ってたら「教えてあげるー！」って言ってくれて、休み時間、教室にきてくれた。

【親からの応援】

- ・受験前1ヶ月で塾の先生に言われたことを気にしないでと親にいわれたこと。
- ・チャレンジしたいことをおうえんしてくれる。 ・水泳の大会を見に来てくれたこと。
- ・できることが増えた際に、自分のことのように喜んでくれたこと。

【(親) 気にかけてくれる】

- ・調子悪くなるのを予知？されたとき。 ・疲れたりきげんが悪いときに黙っていてくれる。

【送迎してくれる】

- ・ねぼうした時、学校まで車で送ってくれた。 ・塾の送げい（けんかした時）。

【習い事】

- ・習い事の金額を見たとき、恵まれていると思った。
- ・塾に行かせてもらえていること、衣食住をさせてもらえていることなど、生活に関して全面的に支えてもらっていて大切にされていると感じた。
- ・中等に入って忙しいため小学1年生からやっている書道を月4から月1に変えたのですが、その時書道の先生が毎回学校でのなやみを聞いてくれたこと。

【悩み相談】

- ・嫌なことがあったときにはげましてくれる。
- ・忙しいながらも、問題（いやなこと）があったときに、味方になってくれたこと。

【自由にしてくれる】

- ・人との関わりを大切にさせてもらえる。 ・このような場にも積極的に、行かせてもらえる。

【環境】

- ・ぎゃくたいのニュースを見て、想像ができない環境だと思ったとき。
- ・親に生活させてもらっていること。

【認められる】

- ・人権作文で表彰されたとき。 ・合唱コンクールなどで司会などの役割が与えられたとき。
- ・リレーでアンカーを任せられたとき。

【愛のある指導】

- ・練習の時、おこつてばかりのコーチが、大会の時はめっちゃ応援してくれて、勝つと喜んでくれる。
- ・自分のために、様々なことを、ときに厳しく言うってくれること。

ほうこく 報告レポート

D チーム 中学生：7名

【2】それを増やすためにできること

【じぶんのいいこと×じぶんのちからで】

- ・自分と似たしゅみの人や年代の人と話す！
- ・反こう期でも親とかかわる

【じぶんのいいこと×みんなでしくみで】

- ・たくさんの経験（海外旅行など）

【みんなにいいこと×みんなでしくみで】

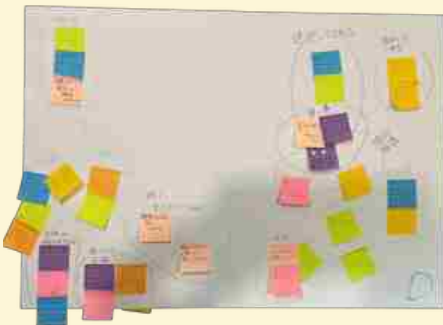
- ・たくさんの人とかかわる
- ・感謝（支えてくれたことへの）
- ・子供が暮らしやすいかんきょうをつくる
- ・色々な人と知り合える場を増やす！
- ・子供を支援する補助金を3人以上ではなくても多くもらえるようにする。
- ・もう少しお悩み相談が出来る所を作る（誰でも利用できる）
- ・悩みが相談しやすい環境をつくるべき
- ・気軽に相談ができる場所をたくさんつくる
- ・1人1人の意見が大切にされるこのようなフォーラムをもっと開きいする

【みんなにいいこと×じぶんのちからで】

- ・コミュニケーションをとる（自分の気持ちを伝える）
- ・人の良いところを常に探す！→パッとと言えるようになる！
- ・クラスの中でも一人一人が自分を大切にできるようにする
- ・感謝を伝える→もっと実感できる！言われた方もうれしい！

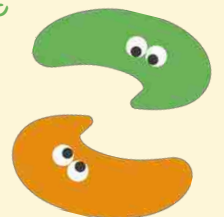
ファシリテーター（班でお話を聴いていた人）の感想

- ・最初は緊張している様子もありましたが、少しずつコミュニケーションが活発になり、安心して意見を言える雰囲気ができていった印象がありました。
- ・習い事（塾など）への親御さんの関わりなどに対する感謝など、中学生ならではの視点での意見が出ていました。



ばんこうき
反抗期にも

かんわりあはると
いいよね



ほうこく 報告レポート

E チーム 高校生・大学生世代：4名

チームの発表まとめ

大切にされているなと感じたできごとは？それを増やすには？

- 「自分が大切にされたと思う経験」として、出てきたのをまとめると「自分の意見を尊重してもらえる」が出ました。手間とか時間をかけてもらえる、自分のこうして欲しいという思いを、声をあげなくても向こうから察して行動してくれるとか、声をかけてもらえる気遣いなどの声がありました。
見守るとか相手を気遣うって自分にも余裕がないとできない、信頼関係がないとできないという点から、それを増やすためには、特に親子での時間を増やすことに焦点を当てました。
中高生になると親子の対立ってというのがどうしても出てきてしまうので、話し合うこと、話し合ってお互いの意見を伝え合うことというのを大事にしていきたいと思いました。
そのために小さい頃から信頼関係を作って、親子の時間を確保しようとなりました。具体的な取り組みとして、キャンプとか話す時間をまとめてとれるような機会を作っていけたら良いとか、高校生とか大学生だと授業や学校の時間が部活も含めてすごい忙しいことも多いので、その時間を減らして親子や友達、こういう誰かと交流する時間を増やしていけたらいいなという意見がまとまりました。

個々の具体的な意見

【1】大切にされているなと感じたできごとは？

- ・ボランティアで失敗した時に職員や子どもになぐさめられたこと。
- ・子供の保護者に感謝されたこと。
- ・自分という存在を見守られている。・意見を尊重してもらえる。・信頼されている。
- ・インターンで成功した時にほめられたこと。
- ・冬の寒い日に父が自分の上着を私にかけてくれたこと。
- ・小学生のとき、私の好きな柄と色で、手下げ袋をミシンで作ってくれたこと。
- ・自分のやりたいことを尊重してくれたとき（進路とか部活）。
- ・友達でも家族でも好きなものを覚えてもらえていたとき。
- ・バイトで本当におこられたこと。
- ・グループ活動（学校とか）で大きな役割をまかされたとき。
- ・中学の部活（バレー部）で友達が自分の荷物を運んでくれていたこと。
- ・自分に手間をかけてくれる。・送り迎えをしてもらえたとき。
- ・お母さんがいつも自分のために買ったおかしを半分こして私にくれること。
- ・自分が声をあげなくとも察してくれている。
- ・指を骨折したときに担任の先生が無理して宿題をしなくてもいいと言ってくれたこと。
- ・お兄ちゃんと電車に乗って、満員で辛かったとき、何も言わずに手をつないでくれたこと。
- ・友達が遊びにさそってくれたこと。



ほうこく 報告レポート

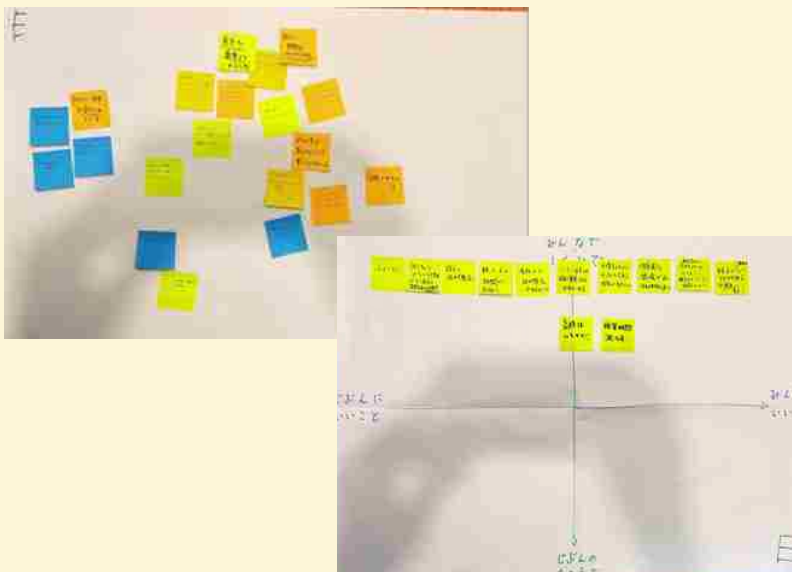
E チーム 高校生・大学生世代：4名

【2】それを増やすためにできること

- ・話すこと
- ・話しあってどういう理由でそうした意見をしたのか、の背景を知れる機会があるといい
- ・親子で話す機会
- ・親と子の時間が足りない
- ・普段から話す機会があるといい
- ・小さい時から意見が尊重される必要がある
- ・高校はいそがしい
- ・直接会えなくても伝えられる手段があるといい
- ・授業時間減らす
- ・保育園と職場が近い（物理的に近い）
- ・親子同士で話すきっかけとして、親子イベントが出来るといい
- ・親子で話す機会を祝日にする！強制！

ファシリテーター（班でお話しを聴いていた人）の感想

- ・会場では、話す場所の選択肢が沢山あったのが良かったです。お気に入りの場所をグループのみなさんと一緒に決めることができ良かったです。
- ・みなさんの意見がしっかりと聴かれ、尊重される空間をメンバーと一緒に作り上げることができました。
- ・終盤はみなさんの緊張もほぐれて意見がたくさんでできました。年に1回ではもったいないので、日常的に意見が言える・聴かれる機会を作っていくことが大事だと感じました。



じっくり時間をとって話
せる機会をつくるかあ～
いいね



ねえねえ
キャンプいこ！